

むつ市議会「議会報告会及び市民との意見交換会」報告書

報告会名称	第6回 むつ市議会 議会報告会及び市民との意見交換会 (第 1 班)
開催日時	平成30年11月 7日(水) 午後 6時 30分 開会 午後 8時 00分 閉会
開催場所	むつ来さまい館
出席議員等	目 時 睦 男 富 岡 修 大 瀧 次 男 川 下 八十美 原 田 敏 匡 石 田 勝 弘
参加人数	25名
報告内容	・第237回定例会での議案及び各会計決算について説明 ・平成29年度むつ市各会計決算の審議内容
報告に対する 質疑・意見等	特になし
意見交換内容 (主な意見・ 要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化の事業はむつ市で行われているのか ・災害が起こってからでの修繕等ではなく、事前に対策(改修)した方が予算的に安くすむのではないか ・津波マップの範囲、降雨量、河川の氾濫水位等、過去の災害に比べて過小標記されているのではないか ・災害時、市街地と郊外では対応が違うのではないか ・自主防災組織は何故増えないのか ・災害時における要救助者リストを市より頂いているが、プライバシーの観点から会長しか把握できていないため、いざという時のどのように対応すれば良いか頭を悩ませている ・防災士育成への補助を出すべきではないか ・原子力災害時の避難計画にある避難経路、移動手段は、むつ市民全てをカバーできるのか ・避難道路として期待できる縦貫道、大湊南バイパスの着工率、買収率はどのようになっているのか ・災害時の避難計画等、全市民の理解して貰う取り組みが必要ではないか

	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ約 30 年間、牧草地が手付かずとなっており畜産を営む者としては整備してほしい ・川内町袈川の牧野が来年度より使用することが出来ず、周辺の畜産業者が頭を悩ませている。指定管理者への応募も検討したが、現状応募資格を満たす組織体ではないため緩和できないものか ・市民が雪を排雪する置き場がなくて困っている。雪置き場として空き地等は無償貸し付けした場合、固定資産税の減税等の制度を設け、確保していく考えはないか ・財政中期見通しで平成 33 年度から赤字となるが、それ以降も赤字となる見込みなのか
<p>記録者所見</p>	<p>参加者一人ひとりがテーマである『災害に強いまちづくり』について、各々の立場、住んでいる環境から、課題、疑問、意見を持ち寄って頂き、有意義な意見交換会となりました。</p> <p>また、極端に予算のかかる事業の要望や、個人への誹謗中傷等もなく「少しでもむつ市を良くしたい」と言った共通認識の下、市民と議員が話し合うことが出来、回を重ねる毎に市議会が目標とする「議会報告会及び市民との意見交換会」の形に近づいて来たのではないかと感じました。</p> <p style="text-align: right;">記録者氏名 <u>原 田 敏 匡</u></p>

むつ市議会議長 様

むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会の実施に関する規程第 10 条第 1 項により提出します。

平成 30 年 11 月 16 日

代表者 川 下 八十美 ㊟